



今月の記事

認知症ケアの取組み

先月からの愛の園

ここがこだわり！

リレーエッセイ

9～10月の予定



「私に取り組む認知症ケア」-研修での学びから-

ケアワーカー 吉本さやか

園長 武藤直二

台風の中、大勢の介護、福祉従事者の方が出席していて、これからの日本の介護をもっと良くしようという熱い思いを感じました。今回のテーマは「認知症ケア」を様々な角度・視点から共に考えることでした。まず「老い」を知ること。「老いる」ということは人の自然の歩みであるので、自分自身のこととして認知障害を持つ高齢者への温かい眼差し、自然な老いの受容の心で日々関係作りをし、共に歩むことが大切であると学びました。

認知症の人のケアとはその人との関係作りであり、人として自然な生活の中でどのように幸せになれるかを考えること、と学びました。

認知症の方々をケアの対象として客観視するのではなく、幸せな生活を共に築く間柄としての関係が求められます。人として、安全で、快適で、大事にされている生活は、認知症の人だけでなく誰にとっても具合のいいことです。愛の園の生活を受け入れられず、苦しんでいる方もおられるかもしれませんが、毎日の生活が少しでも具合のよいもの、豊かなものであり、その方の幸せに繋がるよう、関係を深めていきます。

私自身、日々の何気ない関わりを大切にしていって、表面には出てこない本当の想いを感じ取り、その方が望んでいるケアやプランなのかを考え、そこにその方の居心地の良い場所を作り、夢、喜び、楽しみを持って穏やかに過ごして頂けるように努めていきたいと思えます。

もうじき60歳。万人に公平である老いを受け止めて逆らわず、施設職員として老いの道を同時に歩き、認知障害の坂を笑顔で共に登っていきたく願います。自分を理解し、笑顔で！



上富田町の小出隆道町長と奥田誠議長が100歳を迎えたCさんのお祝いに来られました。握った手からCさんの元気が伝わったのでしょう。素敵な笑顔が並びました(´o´)

先月からの愛の園 あんなこと、こんなこと



全国障害者スポーツ大会わかやま大会のためお預かりしているマリーゴールド。10月に満開となるよう花期を調節しながら大切に育てています。 9/2



3ヶ月毎に田辺市のトイランドヨネクラさんが開いてくださるカプラによるお楽しみ会。いつも大人気で大勢の入居者の方々と職員とが参加しました。 9/6



「マリモと愉快的仲間たち」が来園。参加した皆さんは笑顔で愛らしい犬達と触れ合いました。 9/2



宮崎理事長も参加したカラオケ大会。皆さん自分の持ち歌を機嫌良く披露しておられました。 9/4



ここがこだわり！私のユニット 10ユニット

ケアワーカー
岡野 晃



洗濯物をたたんでいるSさんと熊野
高校看護専攻科の実習生

私は愛の園で介護支援の仕事に就くまでは全くの未経験で、何も分からないまま介護の仕事をしていただくようになり約1年が過ぎました。今、特に気をつけていることは入居者の方に介助による内出血や怪我をさせないよう、入居者の状態を知り先輩職員の方々から教わった介助方法で自分にあったものを見つけて行うようにしています。

入居者の方の中には転倒のリスクが高い方や内出血が発生しやすい方がおられ、少し目を離すと転倒されたり、手背などを握ってしまうと力を入れていないつもりでも内出血になったりと、少しの不注意でも怪我をさせてしまうことがあります。常に入居者の方々の状態を念頭において介助を行うようにしています。

約1年経った今、まだ緊張感はありますが

仕事にも少し慣れ、先輩職員方が丁寧にご指示下さり充実した毎日を送っています。

私が今後の目標にしていることは先輩職員方のように、自身の経験を生かした介助支援ができるようスキルを高めていくことです。

ユニットのこだわりとして、入居者の方々お一人お一人の出来ることを役割としていただいています。

例えば入居者の方の中に手仕事をしたいと言われる方がおられ、食事の際のおしぼりをたたんでいただいたり職員が付き添って2階の物品庫に物品を取りに行ったりしていただいています。それを見た他の入居者の方が「私にもそれさせておくれ。」と言われるなど、周りの方々にもよい影響が繋がっていると思います。



神戸市中央区の神戸市立博物館

リレーエッセイ(37)「神戸市立博物館へ」

管理栄養士
湯川知美

先日、私は仕事の休みを利用して神戸市立博物館へ行ってきました。

現在、博物館では特別展「プラハ国立美術工芸博物館所蔵 耀きの静と動 ポヘミアン・グラス」を開催しており、展示されているポヘミアン・グラスは15世紀から現在に至るまで、チェコスロバキア地方で製造されてきたものです。

グラス等の日用品に始まり、絵画のようなものや近代芸術作品など様々なものがあり、合わせて170点もの作品が展示されていました。

年代順の展示になっており、初めに気になったのが「ビーカー」と呼ばれるドリンクンググラスです。このグラス、表面にデコボコした突起がいくつもついて、鬼の金棒のような印象の奇抜なデザインだと思って観ていたのですが、15世紀当時の人達は手で食事をしていたため、油が付いた手でもグラスが滑らないように、この

形が一般的だったそうです。

ビーカーと並んで展示が多かったゴブレット。脚つきの把手のないグラスのことを言うようですが、私は映画「ハリーポッターシリーズ」で初めて知りました。カットとエンレーピング(彫)という技術がとても繊細で綺麗な印象を受けました。

じっくり博物館を回って1時間ほど。時代が経つにつれてグラスの模様は複雑になり、ガラスの色も様々になっていき、技術の進歩がはつきりわかって興味深かったです。

また、気になる作品展等があれば機会を見つけて博物館を訪れたいと思っています。

次回のリレーエッセイは、事務職員の岡本多恵子さんにバトンタッチします。よろしく申し上げます。

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

9～10月の愛の園

- 13(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
敬老の日「一日我が家」
- 15(火) ひまわり会
- 16(水) 手芸サークル 歯科診療
- 17(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 18(金) 社協ボランティア来園
岩田幼稚園敬老訪問
- 20(日) 礼拝(み言葉の礼拝)
- 22(火) マリア会
- 24(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 27(日) 礼拝(聖餐式)
- 30(水) 創立記念式
- 1(木) やまびこ会 ヨガ教室
- 4(日) 日曜礼拝(み言葉の礼拝)
ヨネクラ玩具来園
- 8(木) やまびこ会 ヨガ教室

編集者から

紙面の写真でも紹介させていただきましたが、先日トイランドヨネクラの米倉千景さんが来園して下さい、入居者の皆さんと職員でクラブ遊びを楽しみました。

縦120mm、横24mm、厚さ8mmの板を積み上げたり組み合わせたりすることによってどんな形でも作り出せるので、魔法の板とも呼ばれているそうです。遊びというよりひとつひとつの作品を製作しているという方が正しいのかもしれない。

今回は12月6日(日)午後2時から開催する予定です。ご家族やボランティアの皆さんもお時間がございましたらぜひご参加いただけますようご案内いたします。(1)